

京丹後市議会に関するアンケート調査
結果報告書

平成18年12月

京丹後市議会

調査実施の背景と目的

京丹後市議会では、平成18年9月定例会において、議会の活性化と改革に向け、様々な面から議会に関する見直し・検討を行うことを目的に議会改革特別委員会を設置しました。

特別委員会では、議会改革の検討課題を 議員の役割と任務について、 議会基本条例について、 議員定数について、 議員報酬について、 政務調査費について、 議会の活性化について、 市民へのわかりやすさと市民参加について、 議会の基本事項について、の8点にまとめました。また、調査検討の手法として、研修会及び視察研修の実施により全国的な議会改革の現状と課題について見識を深めるとともに、市民の皆様の意見を改革に反映するためにアンケート調査・懇談会・公聴会・パブリックコメント等の手法を活用することとしました。

今回の「市議会に関するアンケート」は、市民にわかりやすく開かれた議会づくりに向けて、市民の皆様の議会に対する率直な意見・要望を把握し、今後の議会改革のための資料として活用するとともに、市民の皆様の意見を改革に反映することを目的として実施し、1,263人の方から回答をいただきました。本アンケートの趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます。

調査の方法

- 1 調査地域 京丹後市全域
- 2 調査対象 20歳以上の市民
行政関係団体等経験者（自治区長、旧町議会議員経験者、
旧町四役、前地域振興協議会委員）
- 3 対象者数 3,117人（内訳 2,500人、 617人）
- 4 抽出方法 旧町別人口・年齢比率による住民基本台帳からの無作為抽出
網野町609人 大宮町414人 久美浜町459人
丹後町272人 峰山町516人 弥栄町226人
行政関係団体等経験者
網野町116人 大宮町 86人 久美浜町137人
丹後町 92人 峰山町 95人 弥栄町 91人
- 5 調査方法 郵送による無記名アンケート調査
- 6 調査期間 平成18年10月24日～11月15日

回収状況

1	発送数	3,117人
2	回収数	1,263人
3	回収率	40.5%

調査項目

- 1 調査対象者の属性（問1、問2）
- 2 市議会への関心度の把握（問3、問4、問5）
- 3 市議会に対する評価の把握（問6、問7）
- 4 議会改革に対する意向の把握（問8、問9）
- 5 議員定数に対する意向の把握（問10、問11）
- 6 議員報酬に対する意向の把握（問12、問13）
- 7 政務調査費に対する意向の把握（問14、問15）
- 8 議会への全体的な意見・要望の把握（問16）

集計結果の見方

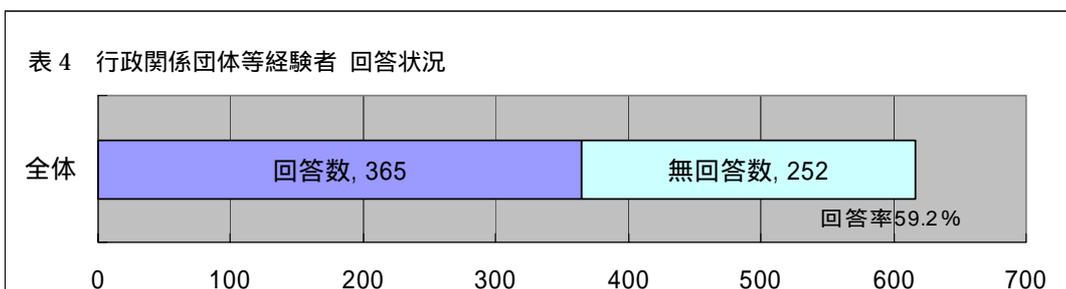
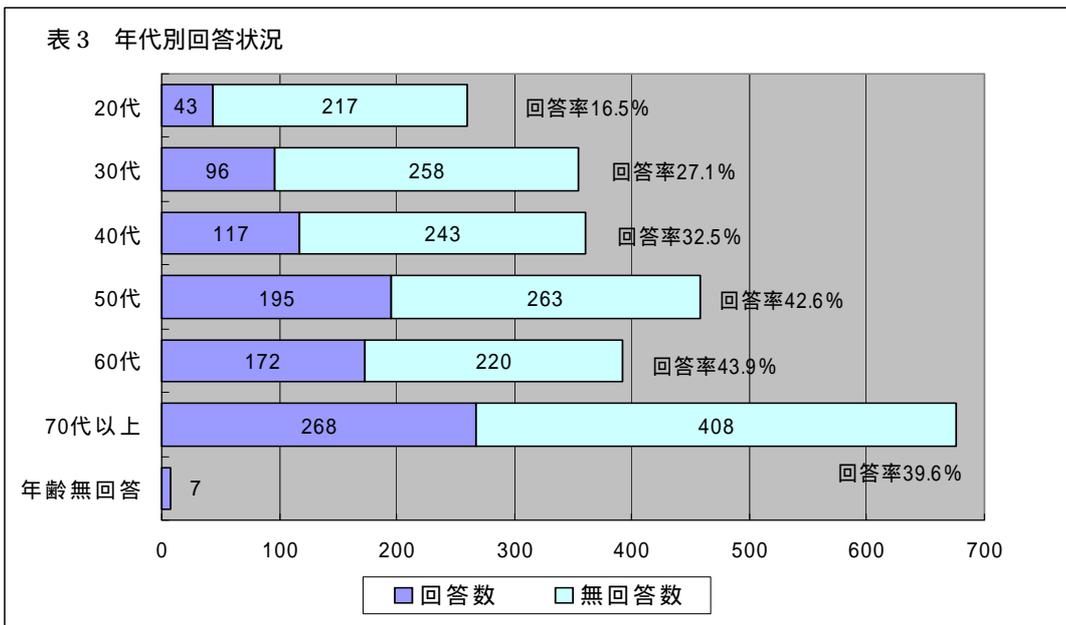
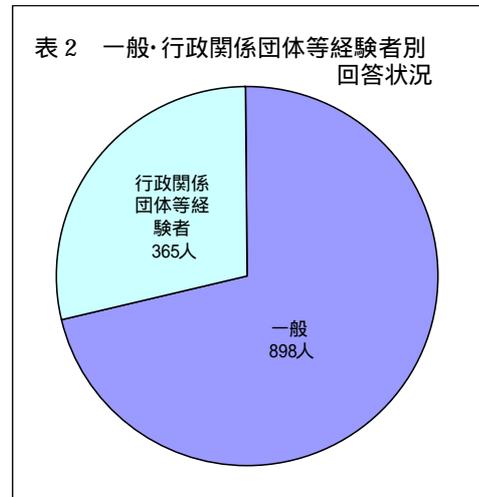
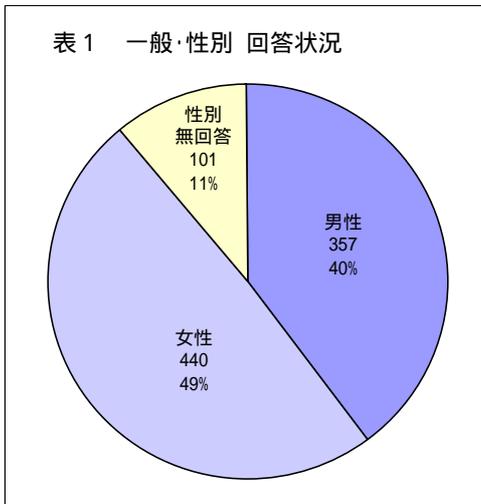
- 1 この報告書においては、各質問に対する回答を単純集計しており、クロス集計はしていません。
- 2 調査結果の円グラフでは、構成比率（パーセント）において小数点以下をおおむね四捨五入しています。
- 3 設問のなかには前問で特定の選択肢を選んだ人のみが答える限定設問が問9、問11、問13、問15とあり、問9のみ複数回答を可としたことにより回答者数が全体より多くなっています。

集計結果

問1 あなたの性別と年齢を教えてください。

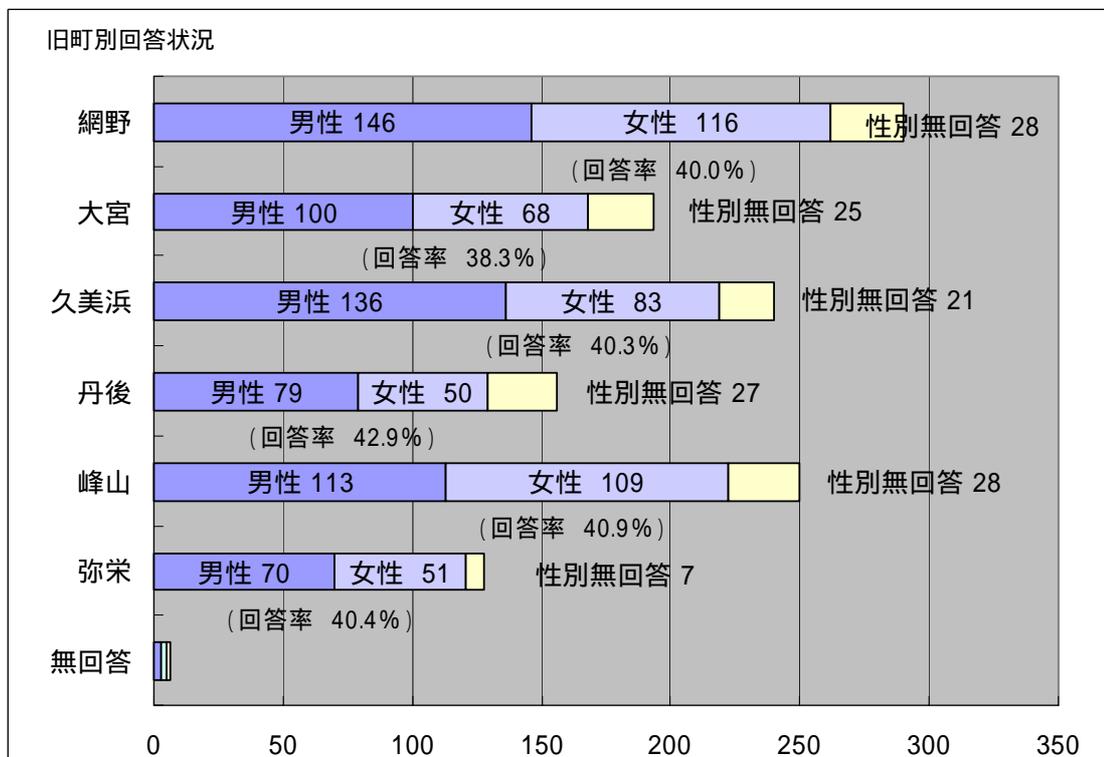
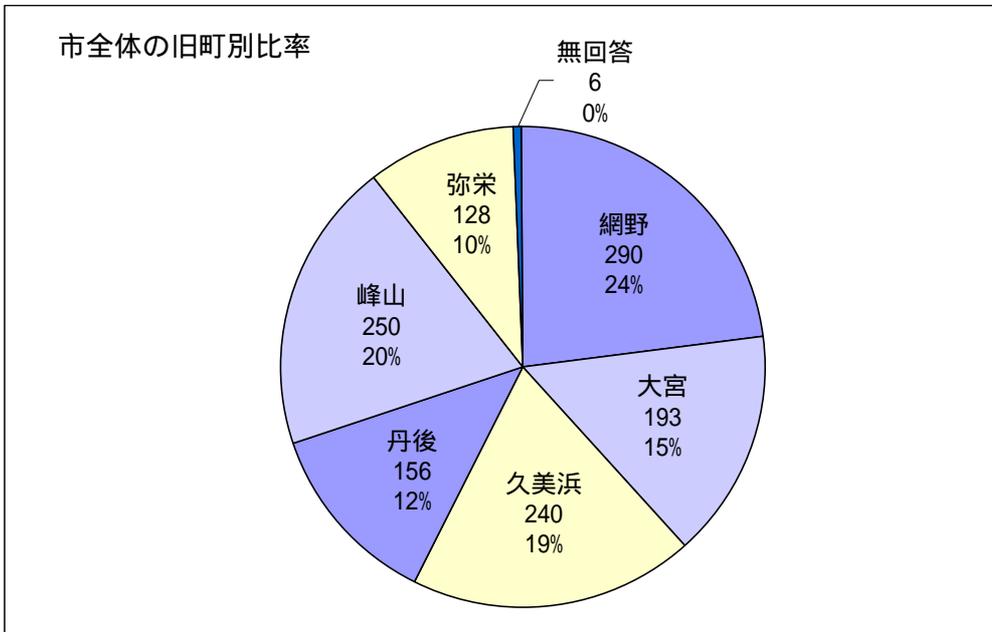
無作為抽出で選ばせていただいた2,500人、男性1,187人・女性1,313人の方から898人（35.9%）の回答をいただきました。内訳は表1のように男性が357人（40%）、女性が440人（49%）、無回答101人（11%）ですが、それぞれの性別回答率は男性が30%、女性が33.5%であり、表3で見るように年代が高くなるにつれて、回答率も高くなっています。

また、表4のように行政関係団体等経験者は、617人に対して365人で、59.2%と高い回答率となっています。



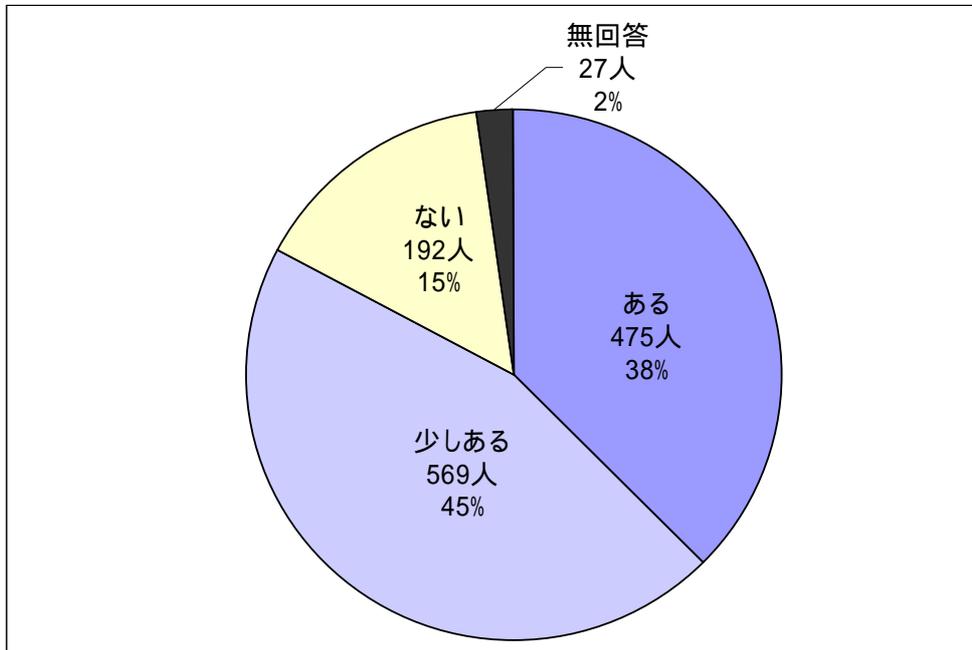
問2 あなたのお住まいについて教えてください。

旧町人口に応じて選ばせていただいたので、旧町別回答率にして大きな差はありませんが、丹後町が最も回答率が高く、次いで峰山町、弥栄町、久美浜町、網野町、大宮町の順でした。



問3 市議会に関心がありますか。

「少しある」が45%と最も多く、「ある」の38%を合わせると8割以上の方が市議会に関心を持っている状況にあります。

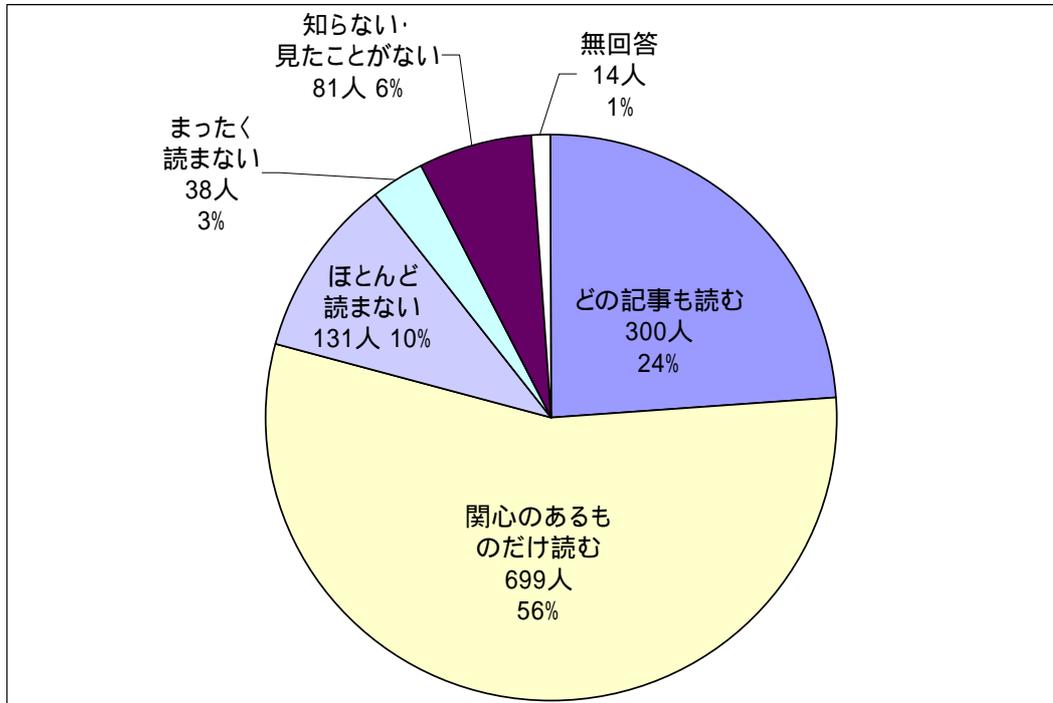


主な意見（要約筆記）

- ・ 関心はあるが、身近なものになっていない。あまり住民との接点がない。
- ・ 市民の代表であるので、市民のことを思って市政をすること。定例議会のたびに会派を変えないこと。
- ・ 住民の意見を反映させる場として重要である。
- ・ 合併後なので、市の将来に関心がある。
- ・ 市政の最高議決機関なので、十分関心がある。
- ・ 市民の代表である議員の意思表示の場であり、当然関心を持っている。
- ・ われわれの代表であり、新しいまちづくりの進め方に関心がある。
- ・ 市議会は「住民の声」と信じているから。市議会の意見・提案によって市・町が良くも悪くも変わるから。
- ・ 新市発展のため、合併協で議論されたまちづくりを十分踏まえてやってほしい。
- ・ 京丹後市になっての利点の追求をお願いしたい。
- ・ 地域行政を担うセクションであり、関心を持たざるを得ない。議員各位の自覚を期待する。
- ・ 市民の声を如何に市議会に反映しているか。
- ・ 納税している限り、その使い道が清明・正当・公平に使われているかどうか、また、市政の行方が間違った方向に進むことがないかと気にしている。

問4 市議会だより「まほろば」を読んでいますか。

「どの記事も読む」24%、「関心のあるものだけを読む」56%を合わせると8割の方が何らかの形で関心を持って市議会だよりを読まれています。

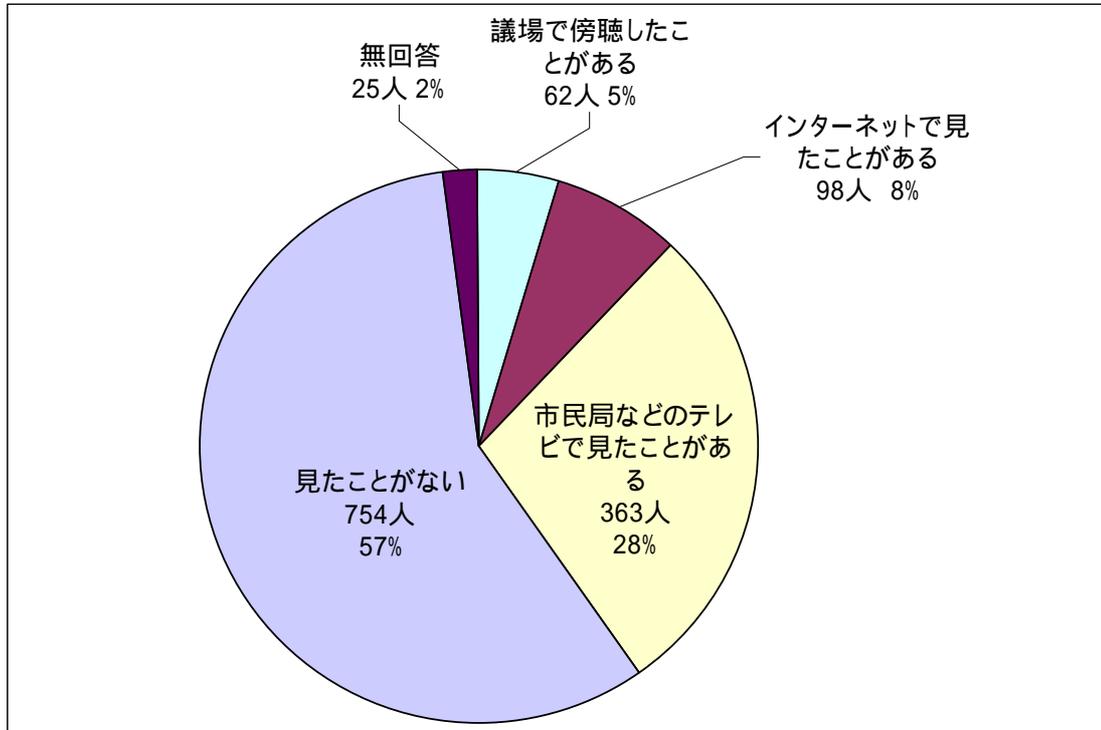


主な意見（要約筆記）

- ・文字を大きくして、読みやすい内容にしてほしい。
- ・一般質問以外の内容が少ないと思う。
- ・要点をまとめて、専門用語を使わずにわかりやすくしてほしい。
- ・一般質問での理事者の答弁を詳しく書いてほしい。
- ・住民の意見も紹介してほしい。
- ・いつどういう形で出されているのか全然知らない。
- ・内容が硬い。
- ・カラーでなくてもよい。
- ・一般質問の内容など興味をもって読んでいます。
- ・ページ数を増やして詳細な内容を知らせてほしい。
- ・議会の目線ではなく、住民の目線で難しい言葉より読みやすい文章で制作してほしい。
- ・議会だよりはさらに市民がわかりやすいように努力をし、創意工夫を重ねた充実を切望する。また、紙だけではわからないので議会報告会もしてほしい。

問5 市議会の会議などを見たことがありますか。

市議会の会議を何らかの形で見たことがある人が 41%となっており、見たことがない人が 57%とかなり上回っています。

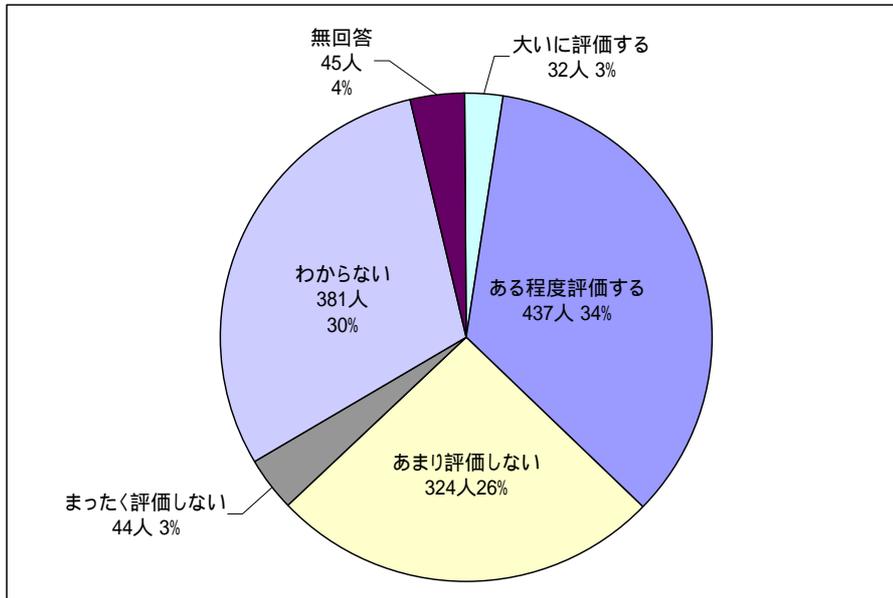


主な意見（要約筆記）

- ・ 会議を見たくても峰山は遠い。
- ・ 市立病院で議会中継を見たことがある。
- ・ どこでいつ会議をしているか知らない。
- ・ 仕事等、平日は行けないので、土日の開催を期待する。
- ・ 久美浜町では、有線放送で一般質問を聞くことがある。
- ・ 実施日の予告が必要である。
- ・ 議会の開催日も議案の公表もないのではないかな。
- ・ チラシで告知されており、関心のある事項についてインターネットで見ている。
- ・ 内容がないので見る気にならない。
- ・ 良くわからないので、見ても意味がない。
- ・ 議会の様子を見てみたいです。ビデオ、DVD の貸し出しもできればお願いしたい。

問6 現在の市議会をどのように評価しますか。

「大いに評価する」、「ある程度評価する」を合わせると37%を占め、3分の1程度の方が評価していますが、「あまり評価しない」、「まったく評価しない」を合わせると、同じ程度あります。

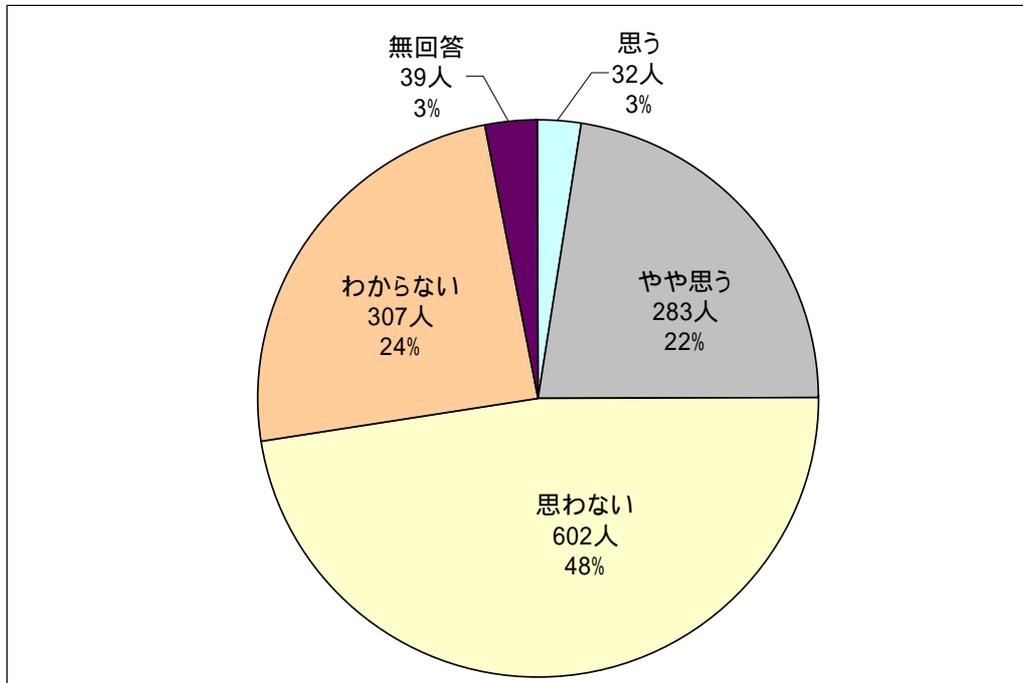


主な意見（要約筆記）

- ・会派が多く、それぞれの考え方がわからない。会派の設立、消滅が多く、議員に対する不信感を持つ市民が多い。1~2名で行動されるのも結構だが、ある方向性が一致したら、もう少しまとまった団体を組まれることを望む。議会の「力」が分散し、住民の声がかき消される心配がある。
- ・一般市民の意見が反映されていない。もっと議会は、歩いて住民の声を聞くべきである。市民の立場、目線での市政のあり方を考えていただきたい。
- ・質問議員が多いことは、議会活動に熱心な証拠である。
- ・全員の方が質問されていてよいと思うが、もっと将来どのようにしていくかといったことを議員の方々が持って、議会で議論をしていただきたい。
- ・議員の提案が市政にどの程度反映されているのか見づらい。
- ・行政のチェック機能としての役割が不十分ではないか。
- ・町が市になって行政がどう変化していくか関心がある。
- ・市内の活力に関する事柄の審議、検討に力を注いでほしい。
- ・京丹後市の将来像を踏まえて努力してほしい。合併による悪い面の対応と将来への希望が持てない=子供が成人しても、京丹後市で生活できるのか？
- ・数多くの質問や型どおりの答弁。ほとんど再質問もなく、これで「終わり」では困る。重要な議案では、問題点を掘り下げて議論してこそ議会と思うが。
- ・「私は何をしたい」という議員の姿勢が感じられなく、伝わらない。議員は何のために活動しているのか聞く場もなく、市の方向などがよくわからない。

問7 あなたの意見や市民の声が市議会に反映されていると思いますか。

「思う」、「やや思う」を合わせても25%と低く、逆に半数近くの人(48%)が、市民の声が反映されていないと思っています。

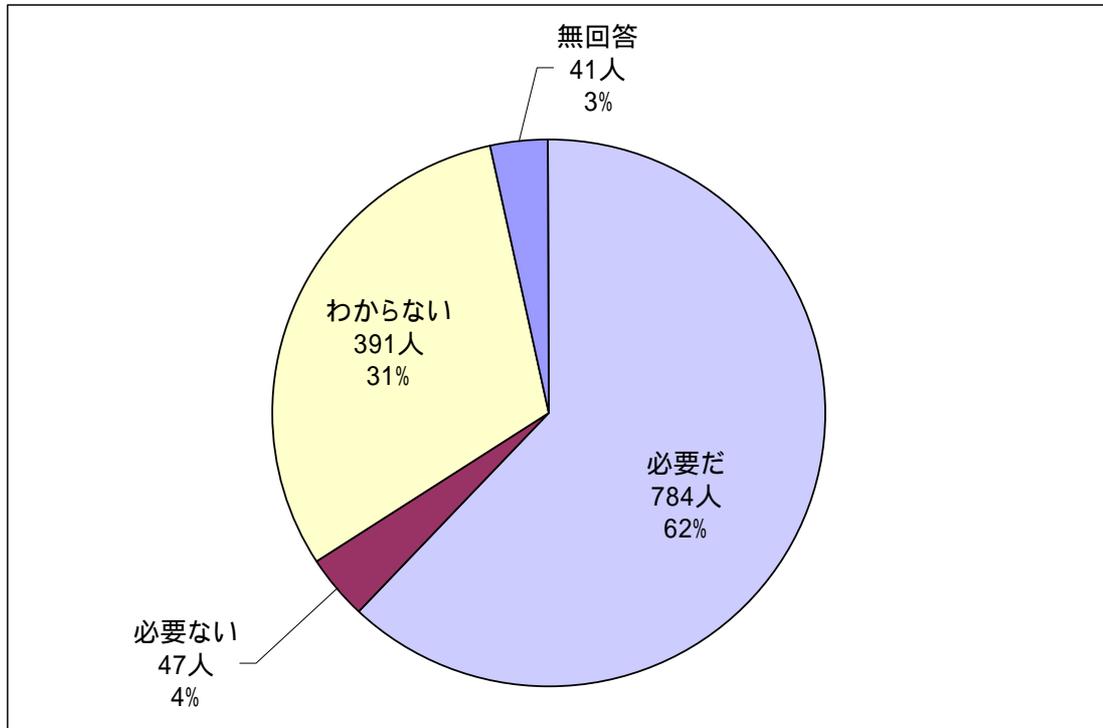


主な意見（要約筆記）

- ・ 議員は市民の代表であり、いろいろな市民の声を聞く会合を持つべきである。
- ・ 市民の声を聞くのは、議会人の責務である。
- ・ 議会があまり強い力を持っていないような気がする。単なる数合わせではいけない。合併後の活力が一気にしぼんでしまっている。
- ・ 審議会ばかり作られており、そのことに議会の存在意義が問われているのでは。
- ・ 市民の声を反映する機会がない。議員が市民を視点にした活動をしていない。
- ・ 議員の務めは、支持者あるいは市民の要望等を伝達することのみではない。それぞれの見識で持って未来をシミュレートすることにもっと重きを置くべきではないか。
- ・ 初回なので議員も市民も経験がなく、学習も実績もなく、市民の声を行政に反映する手だてや体制もまだ十分とはいえない。
- ・ 議員が市民との交流を図ろうと努力している姿勢が見えない。
- ・ 合併してから範囲が広くなり、末端の市民の声が届きにくくなっているのではないかと感じる。きめ細かな改革が見えにくい。
- ・ 地域の議員さんが、身近に感じられなくなりました。話を聞いたり、意見を言う機会もなくなりました。

問8 市議会の改革は必要だと思いますか。

「必要ない」という人がわずか4%にすぎず、「改革が必要だ」という回答が大半を占めています。

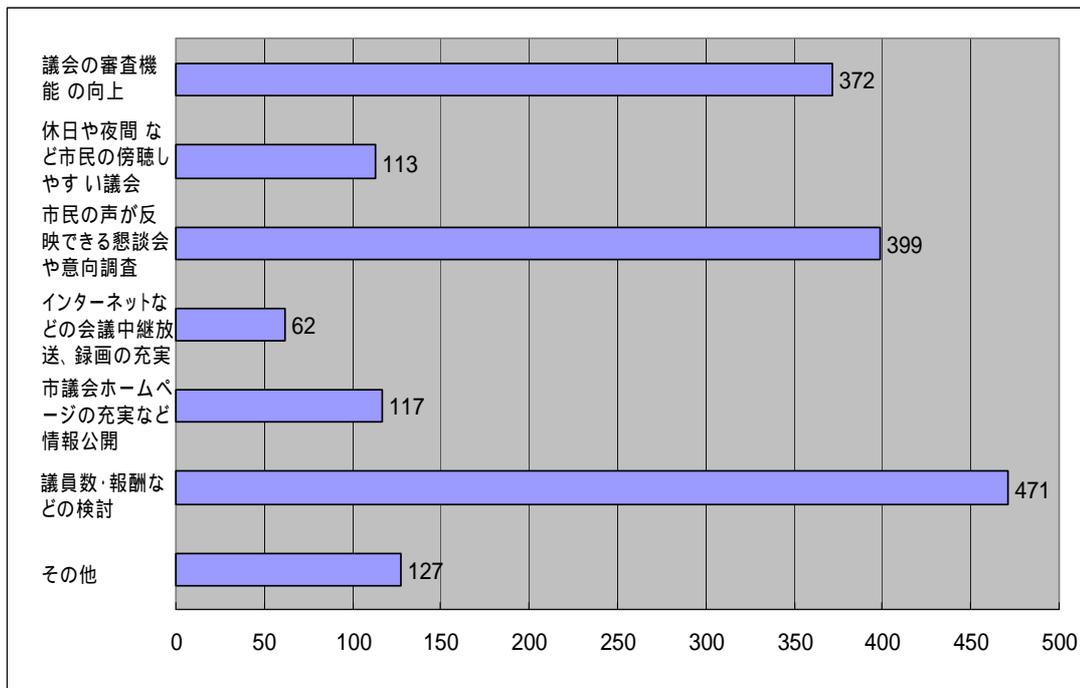


主な意見（要約筆記）

- ・議会も行政改革を行い、住民に模範を示してほしい。（報酬・手当・定員の削減など。）
- ・市議会の情報等すべてにおいて市民によくわかるよう報告してほしい。
- ・各委員会もインターネット等で公開してほしい。
- ・給与を他市と比較するのではなくて、仕事量とか出席日数等の内容を重視すべき。現状は高すぎる。人数の見直しも必要だ。
- ・合併初議員でしかたがないが、旧町に「固持」せずに市全体の事を考えて活動願いたい。
- ・もっと市民の声が反映されるような体制を考えてほしい。
- ・時間の無駄をなくすために、本会議の質問は、会派代表質問とすべき。
- ・議会での各地区での報告会があればもっと関心と呼ぶと思う。
- ・信念をもって会派に臨んでほしい。ころころグループが変わりすぎる。
- ・他の市との比較ではなく、田舎の町としての視点で大改革して下さい。
- ・よりダイレクトに市民の声が市議会に届くように、たまには市民の要望を書く用紙を家庭に配布されたらどうか。
- ・どのような活動をしているか、積極的に広報活動を行うべきである。

問9 問8で「市議会の改革は必要だ」を選ばれた方にお尋ねします。市議会が改革に取り組む課題は何だと思えますか。

「議員数・報酬などの検討」についての意見が最も多く、次に「市民の声が反映できる懇談会や意向調査」、「議会の審査機能の向上、政策提言機能の強化」と続いています。

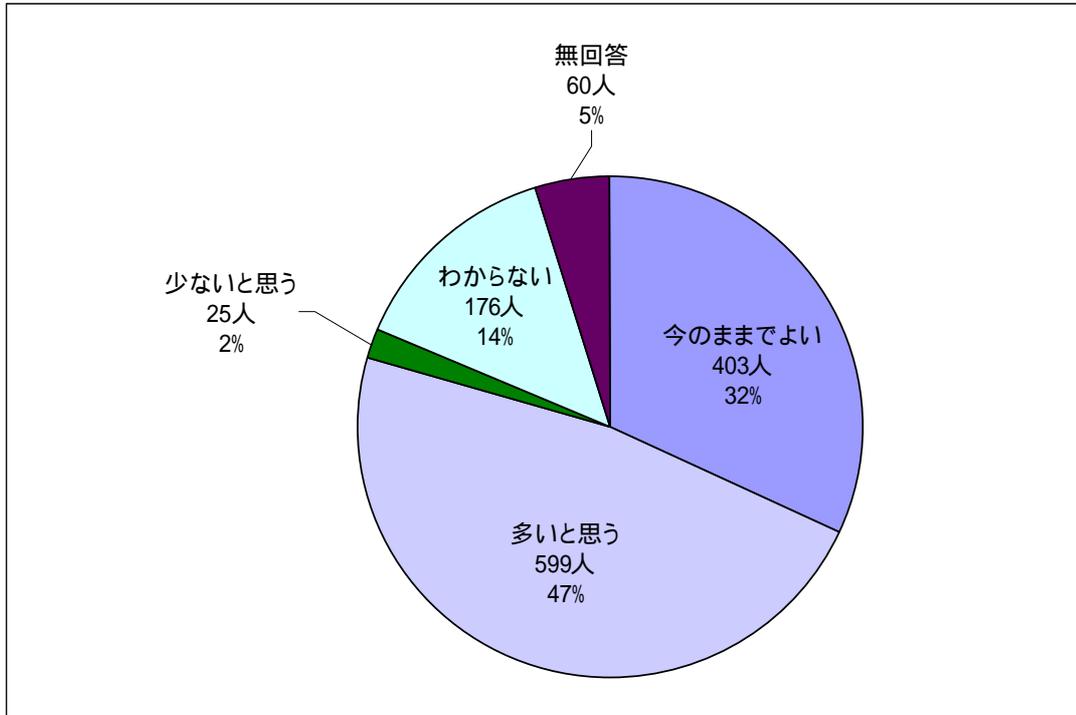


主な意見（要約筆記）

- ・どの議員が何を言っているのか、どのように考えているのか、情報を発信して欲しい。
- ・報酬・数を少なくする以外、何も望まない。
- ・定数を増やして、報酬を引き上げるべし、この方が有能な人材が集まる。
- ・貧弱な市なのに議員数・報酬などがいずれも多すぎる。
- ・地域の代表のような人からの意見を聞く機会を多くもって、市民の意見を聞いてみてほしい。（福祉、教育、医療、司法、行政）問題点を共有したい。
- ・私達が今一番市に要望していることをわかりやすく伝えてほしい。議会が今何をやろうとしているのかわからないので、関心が薄いのが本音である。
- ・よかろう議員ではなく、議員立法、また、行政に対する対案が出せるような政策の勉強が必要。
- ・地域ごとでの懇談会などをもっと考えてほしい。
- ・議員定数削減。政務調査費は必要では。資質の向上、研修費。
- ・30議席から24議席ぐらいでよいではないか。報酬は上げてほしいが、市民のためになるよう頑張してほしい。

問10 合併により現在の議員定数は30人(法律での上限30人)ですが、議員数についてどう思いますか。

「多いと思う」が47%と約半数を占めていますが、「今のままでよい」も32%あります。

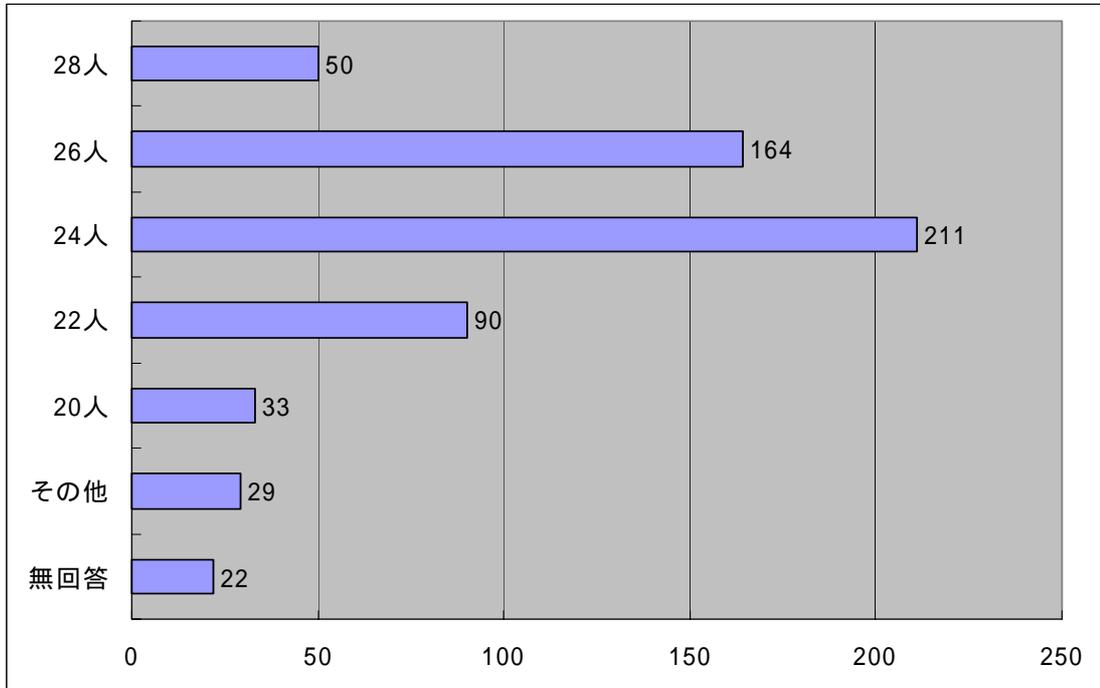


主な意見(要約筆記)

- ・ 議会の役割からして、議員定数の削減は望ましいことではないが、地域経済・財政状況から経費削減を図るために、定数削減は緊急を要する。
- ・ 議員自ら危機感と定数削減を示してほしい。
- ・ 減数しても、議員の努力で市民要求などに対応できる。
- ・ 議員が多すぎて、それぞれの活動状況がよくわからない。
- ・ 他市の人口に比べて、議員数は多すぎる。
- ・ 予算の厳しい中でもあり、極力少数精鋭で願う。
- ・ 市の面積は広く、民意を反映させるためには一定の議員数は確保すべきだ。
- ・ 少人数では議会活動が十分にできない。これ以上少なくすると議会が活性化しなくなる。
- ・ 将来的には削減も考えられるが、合併後、まだ日も浅く、広大な地域であるので、地域の声を聞き、地域の実情を把握して市政に反映させるためには、現在の定数でよいと思う。

問11 問10で「議員数が多いと思う」を選ばれた方にお尋ねします。削減後の具体的な議員定数は何人だと思えますか。その理由をお書きください。

削減後の議員定数は「24人」が211人で全体の35.2%と最も多く、次いで「26人」、「22人」、「28人」の順になっています。

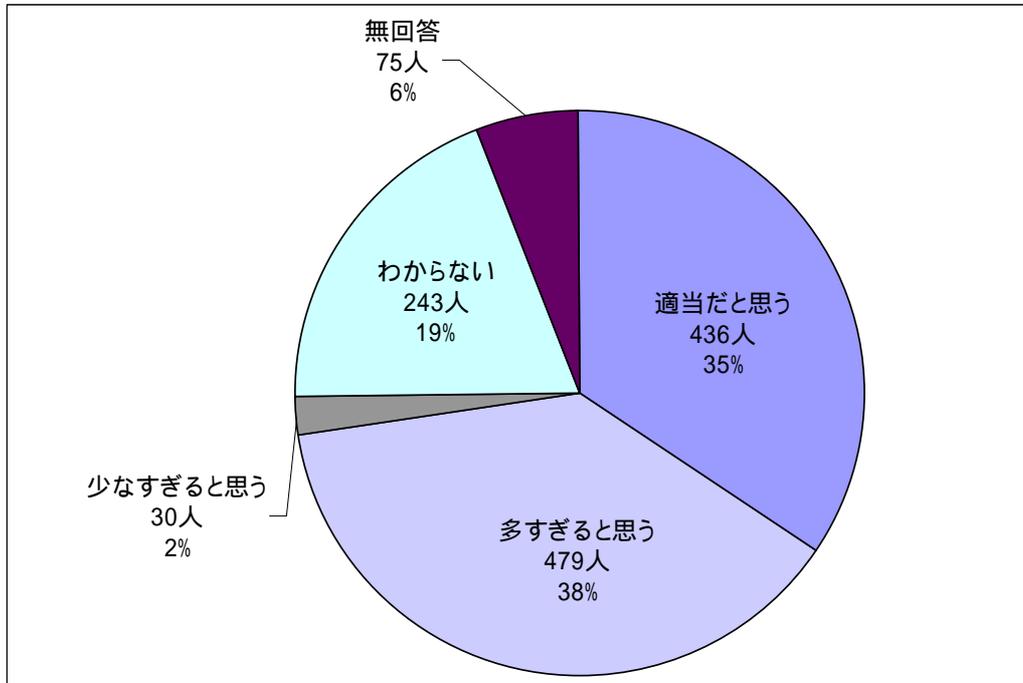


主な意見（要約筆記）

- ・市職員削減の中、議員だけが法律上限定数では市民に理解されない。
- ・多くの市が、法定数を削減している。人口規模でも京丹後市は多すぎる。
- ・京丹後市よりも人口の多い市、福知山市(26人)・京田辺市(21人)・八幡市(24人)などを参考にすべきである。
- ・面積が広いので26人でよい。
- ・他市と比較すると、62,000人では20~24人が妥当だ。
- ・少数精鋭を希望する。段階的に24人。将来22人。
- ・市の財政力、経済力、議員の能力等を考えると、20人で充分だ。

問12 市議会議員に毎月38万円の報酬(現在5%カット)が支給されていますが、これについてどう思いますか。

「多すぎると思う」が38%ありますが、「適当だと思う」もそれとほぼ同じ割合であります。

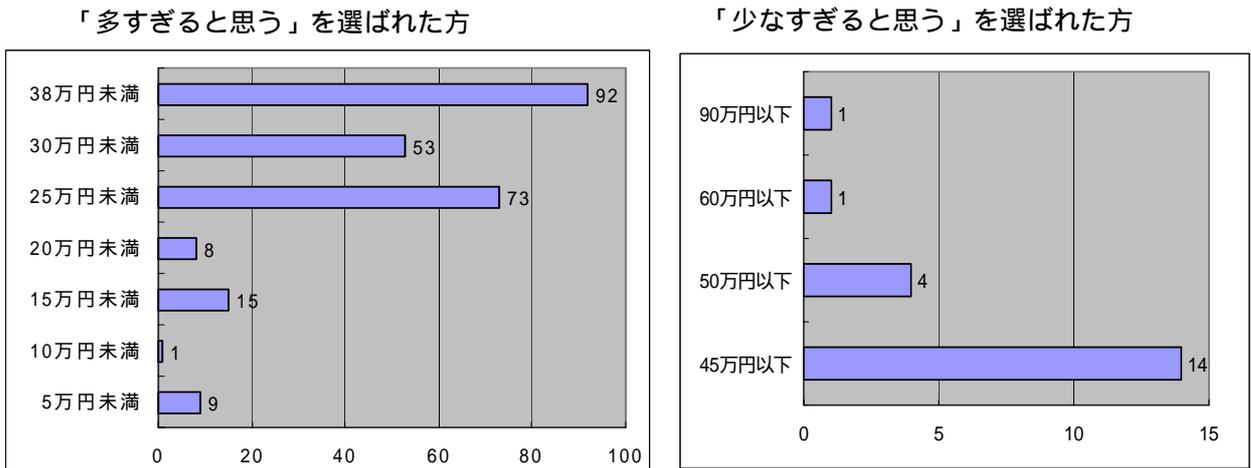


主な意見(要約筆記)

- ・全ての報酬を明らかにすることが先決。(各種手当があるのでは)
- ・毎月38万円の算出根拠と使われ方が分からない。
- ・議員の仕事の内容との兼ね合いなので、多い少ないは述べられない。
- ・活動をみると多すぎる。議員としての仕事が充分でない。専業だと適当だと思うが、他に仕事をされている方には多いと思う。
- ・他に職業を持たなくては、活動どころか生活も出来ない現状。
- ・十分議会活動に専念できる報酬が必要。
- ・議員の場合、他に職業を持った人が大部分であり、自分の仕事をしている時間は市に貢献していないといえる。時給にすると高すぎる。
- ・議員が独自に研究・勉強等に打ち込めば妥当。仕事をしない議員が多い。
- ・府下、全国類団市の状況から勘案して適当と思う。
- ・報酬審議会等で検討され決定されていると思う。
- ・支給カットで議員活動の意欲を下げると、活動に見合うものであるべき。
- ・現状より低くなると、若い人が出られなくなり、年金生活者や限られた人達に独占される恐れがある。
- ・定数を減らし、報酬は適正額上げる方がよい。
- ・定数は増やしてもよいが(多いほうがよい)、報酬をカットして対応。

問13 問12で「報酬は多すぎると思う」、「報酬は少なすぎると思う」を選ばれた方にお尋ねします。あなたが思う議員報酬とその理由をお書きください。

問12で「多すぎる」と回答された方は20万円から38万円の間に集中してさまざまな意見があります。回答数は少数（20人）ですが、「少なすぎる」と回答された方もあります。

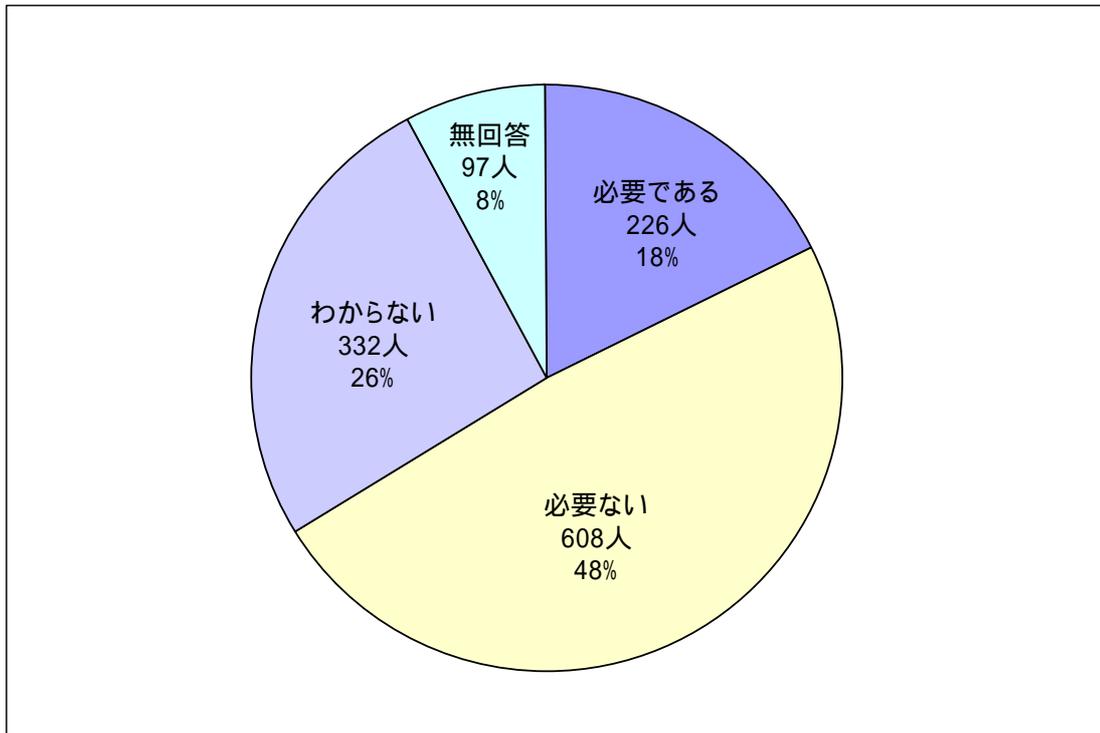


主な理由(要約筆記)

- ・ 報酬は生活給として考えるものなのか、基礎知識もないので答えようがない。
- ・ 政務調査費制度で補充する。
- ・ 議員報酬は支払わず、政務調査費等の必要経費を支払うべき。
- ・ 他に収入がある。他の仕事と兼業している議員が多い。
- ・ 議員が専業ではサラリーマン化し真剣さに欠ける。兼業の場合は収入が安定しているので、報酬にこだわらず、議員活動ができる。
- ・ 議員の活動状況と議会に費やす時間日数等をみて考えるべきだ。
- ・ 報酬に見合った仕事や成果が見えてこない。
- ・ 市の財政が厳しいため、税收と支出に見合った報酬を考えるべき。
- ・ 定数削減し報酬を上げる。
- ・ 丹後地区の平均給与水準に見合った金額にすべきだ。
- ・ 京都府・全国の参考資料や他市との均衡も参考にして。
- ・ いろいろと活動される議員は38万円でも低いのではないかと思う。
- ・ 職務に専念していただく。威厳を持った議員となるよう努力（精進）を重ねて頂きたい。
- ・ 専門化し報酬で生活できるようにすべき。これくらいは最低。
- ・ 議員は特別公務員であるが生活費である。あまり低くては若くて優秀な人が立候補できない。

問14 京丹後市では現在支給されていませんが、議員や会派などが活動するために必要な費用を支給する制度（政務調査費制度）があります。これについてどう思いますか。

「必要である」が18%ありますが、ほぼ半数の48%が「必要でない」となっています。

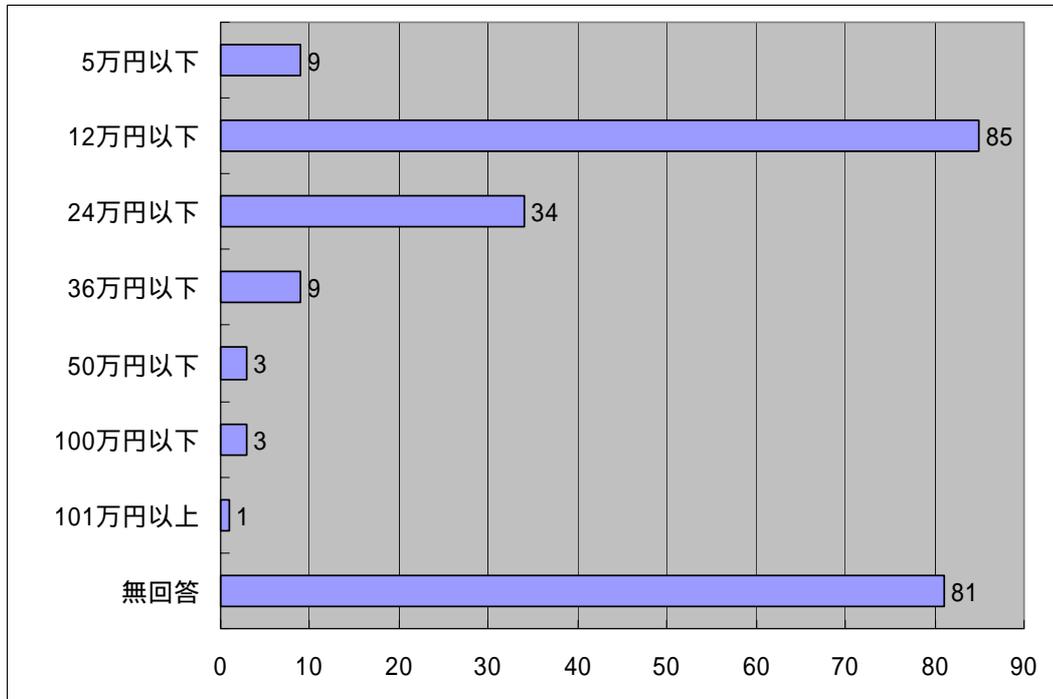


主な意見(要約筆記)

- ・京丹後市発展のため幅広く知識を吸収し研究する必要がある。
- ・議員定数を減らすなら検討しても良い。
- ・調査費を支給するのなら報酬を減らすこと。
- ・用途を明確にして調査報告や資料を公開すること。
- ・領収書等の使用明細を明示し、不正がないようにすること。
- ・厳しい財政であり、不祥事も多く、悪用が懸念されるので不要だ。
- ・議員活動に必要な費用は報酬に含まれているから必要ない。
- ・活動量に個人差があり、一律支給するのはおかしい。報酬の二重取りになる。
- ・必要に応じて支給すること。定額で支給する必要ない。
- ・議員個々でなく会派に支給し、会派全体で知識・資料を共有するなら良い。
- ・現状で活動できるなら、これからも必要ない。
- ・議員報酬が多すぎるので必要ない。
- ・有意義な制度として活用されていない。調査費に使われるのか疑問。

問15 問14で「政務調査費は必要である」を選ばれた方にお尋ねします。あなたが思う政務調査費とその理由をお書きください。

月額1万円(年額12万)の意見が最も多く、次いで月額2万円(年額24万円)となっています。



主な理由(要約筆記)

- ・月額1万円。市民生活に身近な目に見える活動を望む。
- ・議会の立案能力の向上や市政のチェックのために必要。
- ・議員のさらに積極的な活動のために必要。
- ・月1～2万円。参考資料で他市と比較すると適当な金額。
- ・議員報酬を下げて確実な勉強調査に必要な経費を支給する。
- ・議員の活動がわからないので金額はわからない。
- ・定額でなく必要な額だけ。但し、用途は厳格であること。
- ・活動する議員には多く、そうでない議員には少なく。一律はだめ。
- ・京丹後市は面積が広いので、住民の声を聴く活動費用として。
- ・地方分権の時代、真剣な調査資料の収集と勉強が必要。
- ・報酬、議員定数を削減することを前提に支給しても良い。
- ・領収書等の提出など情報開示も必要。
- ・議員報酬の上乗せにならない実費支給的なもので。
- ・会派を中心とした調査研究を重視すべきである。
- ・会派費用、政党費用にならないようにすること。

問16 最後に、市議会へのご意見、要望などがありましたらお書きください。

(要約筆記)

- ・ 議員としての資質の向上と、市民のための冷静な判断と行動を求める。議会改革特別委員会で諸課題について議論がおこなわれ、公正な判断がなされることを望む。
- ・ 調査・研修し自らが知恵を出して、どうしたら京丹後市が良くなるかに全力を出してほしい。
- ・ 議員と市民の意思疎通の機会がない。市民の声が反映できる懇談会の開催など市民との対話につとめることを要望する。
- ・ 議員は市民の声を代弁すべき人。もっと地域に入って地域・市民の声を吸い上げてほしい。
- ・ 合併効果が現れていない。合併してよかったと思えるまちづくりを望む。
- ・ 議員として各人の個性を強調するのもいいが、もっと市民の立場になって協調すべきだ。会派が多すぎる。
- ・ 過疎地がますます寂れていくと感じている。周辺部にも目の届く活動に取り組むことを切望する。
- ・ なれあい議会では困る。市民の代表であるという意識をもっと強く持って、市民の目線で発言してほしい。
- ・ 議員さんにより活動の方法は様々だと思うが、個々に要望をきいてくれるという姿勢があまり見受けられない。
- ・ 市当局の提案に反対の場合は対案を出すことが必要ではないか。単なる反対では意味が無い。
- ・ 出身の旧町にとらわれることなく、広い視野で新しい京丹後市の建設に一層の努力をお願いしたい。
- ・ 理想、理念を持った議会運営をしてほしい。貴重な時間とお金を有効に活用すべきですが、それが感じられない。若い夢に向かって活動している議員がいるとすれば申し訳ない。
- ・ 市会議員の顔が見えないし一人ひとりの政策やビジョンを明確にしてほしい。他町の文化財産やイベントをもっと知るべきだ。議員同士でボランティアや環境のことを話し合うべきである。(議会以外の時間で)
- ・ 住民の意向調査等を分野ごとに、例えば年1回等定期的に実施し、妥当に思われるものについては政策に反映してほしい。議員の定数・報酬については、活動の内容との関連があり、具体的な意見が言えない(議会活動不勉強のため)活動充実を条件に、定数は現状でも可。報酬についても必要な増額等も可と考える。
- ・ 合併してからというもの、市政がわかりづらい。伝わってこない。京丹後市の実感なし。無理がある。もっとアピールしてほしい。

- ・ 市民が期待することが出来る市会議員であってほしいので、もっと情報をあらゆる手段で発信して欲しい。そして、京丹後市が良くなるようこれからも頑張ってもらいたい。期待している。
- ・ 一般質問で同じような質問が多い。もう少し質問者を減らすべきだ。一人の持ち時間が少ないため、消化不良のような答弁が多くていらいらする。
- ・ 議員の良質な意見と立法（条例）を望む。
- ・ もっと一人一人の思想や政策など、何を提案して何に賛成して何に反対したなど、細かくわかるように、また、ネットでもわかるように情報を公開してほしい。
- ・ 丹後6町合併してから2年半しか経過していない。改革、改革と急いでいるようだが、今大きく社会情勢が動いている。もう少し情勢を見極めながら見直しされるべきだ。
- ・ 京丹後市が将来他の合併地域からうらやましがられるようなまちづくりに向けて、一丸となって頑張ってもらいたい。1年、1年の積み重ねで、近い将来そんな京丹後市になることを願っている。
- ・ 市議会で自発的に市民アンケート調査を実施され、議会の活性化と改革に取り組まれたことに敬意を表す。新市が誕生して2年7ヶ月が経過した。課題も多いが、市民、市執行者と協働して課題解決を図り、希望の持てる市づくりに活躍を期待する。
- ・ 市議会への要望というより、自分自身も含め女性がもっと市に対して意見を持ち、未来が明るくなれるよう協力できればと思う。周りを見ても興味を持っておられないように感じるので、女性の座談会的な気楽に意見交換できる場を作ってもらいたい。
- ・ 我々の身近になればならない市議会に関心が持てない現状では、何の向上もない。それに携わっている方々は大変なご苦労をされていると思うが、市民が一丸となって京丹後市が住みよいまちづくりになるよう、また、協力したいという気持ちを持てるように歯車がかみ合っていくにはどうしたらよいかというところから、再度見直しをお願いしたい。
- ・ 議会に興味がないのではなく、こんな時代だからこそ逆に注目しているが、普通に暮らしている私には、何をしているのかまったく見えてこず、アンケート内容にも答えられない状況だ。議員の方と一般市民の考え方にもかなりの温度差があるように感じる。今、何に取り組んでいるのかわかりやすくしてほしい。
- ・ 京丹後市になり、大きな器になったが、不便な点が次々と出てきている。メリットがあったのか疑問だ。京丹後市になり、この町に住んでよかったと思えるようにと望んでいる。特に、若者が帰ってきてくれる町になるように願う。
- ・ 我々20代前半の者にとって、京丹後市は正直かなり居心地が悪いところだ。特に、仕事において正式に雇用してくれる会社は微々たるものだ。安定した雇用につくための改善などしていただきたい。若者は、離れていくばかりだと思

う。

- ・ 10年、20年先のビジョンを持って市民をリードして、より良い市になり、若者が定住できる地域にしてほしい。合併はしたものの、良くなったと感じられることがあまりにも少ない。住民に直接関係するきめ細やかな事柄、要望等に対して、納得できる説明責任を果たしてもらいたい。京丹後市に住んでよかったといえるまちづくりをぜひ進めていただきたい。若者が働ける企業の誘致に努力願いたい。